

みずき野町内会だより

http://goo.gl/gSKV

第4号

2013年5月10日(金)

発行人 守谷市みずき野5-3

みずき野町内会

会長 佐々木 保昌

会長就任のご挨拶



循環型地域社会の構築を目指して

新町内会長 佐々木 保昌

このたび、平成25年度町内会長を拝命いたしました。微力ではございますが、住民の皆様、行政など関係機関の理解とご支援をいただきながら安心・安全に住み続けられる街づくりに尽力したいと思っています。

我が家は20数年前にみずき野に移り住み、ここで育った3人の子供たちはそれぞれに巣立ち、現在、夫婦と母親の3人で二丁目に住んでいます。私は約2年半前にリタイアするまで、町内会・地域の活動には縁のない典型的な茨城都民でしたが、矢嶋前会長をはじめとする諸先輩の暖かいお導きにより、極めて短期間で地元馴染むことができました。

諸先輩方のご厚情に心より感謝し、町内会活動、サークル活動、などを通じて少しでも恩返しをしたいと願っています。

話は変わりますが、日本には“後継ぎ”という考え方があります。家の後継ぎ、地域の後継ぎいろいろな後継ぎの姿があります。継ぐ人たちが、継ぐ意味(価値)を認めたときに“継ぐ”という行為が実践されます。家の場合、家業、家名など、いろいろ継ぐ意味を見出せますが、地域の後継ぎが地域を継ぐ価値とは何でしょうか。

失いたくない大切な日本の伝統文化・行事が、地域に後継ぎがないため消滅の危機に直面している話をよく聞きます。また、次の世代が住まない高度成長期に出現した都市部のニュータウンの惨状を見聞するたびに、目を覆い、耳をふさぎたくなります。地方では生活が成り立たない! ニュータウンには地域として継ぐものがない?ということが主な原因ではないでしょうか。

地域に継承するものがなければ地域の存続が危うくなります。みずき野がこのまま何の手も打たなければ、他のニュータウンの惨状の轍を踏むことになりかねません。

町内会としては

- ① 育った世代が故郷を感じ戻りたくなる街
- ② 新しく家を探す家族がここに住みたいと感じる街

このような街づくりを実現して“少子高齢社会に対応した循環型地域社会を構築”し、安心・安全に住み続けられるみずき野にしたいと考えています。

みずき野が直面する課題を解決するためには行政など関係機関と協業して、地域ぐるみで取り組むことが不可欠です。班長組織をはじめとする町内会の役員の方だけでは限界があります。

今後、機会あるごとに、町内会活動について住民の皆様へ情報を公開しますので、町内会活動に参加してください。

町内会役員は、皆様の意見を取り入れながら方向を示し、住民の皆様がその実践に参加するという二人三脚で、ゴールを目指して走り続けたいと考えています。

皆様のご理解と参画を期待しています!!

町内会定期総会開く

去る4月21日(日)午前9時30分より、郷州公民館集会室にて定期総会が開催されました。

矢嶋会長の挨拶に始まり、議長に江幡氏が選出され、すでに御案内通り議事進行が行われ、議題は全て原案通り承認されました。

平成25年度の新執行部が選出され、佐々木保昌新会長を中心に、新しい船出となりました。



全体に活発な討論が行われ、住民の熱意には、みずき野の明るい未来を感じました。総会の内容から、特に下記の項目が大事なことと思われました。

- (1) 高齢者を支援するネットワーク作り
(見守り、手助け等のルール作り)
- (2) 住民間の交流を更に進めコミュニティを作り、
住民間の絆を深める
- (3) 地震、災害に対して防災体制の確立
(安心安全で住みよい街づくり)
- (4) ボランティアの新たな募集
(組織の拡充、夏祭りなどイベント強化)
- (5) 行政など諸機関と協働して住みよい環境の
充実を図る

来賓の守谷市保健福祉部長横瀬博氏からは、市の地域福祉活動計画のモデル地区として、みずき野町内会には大いに期待し、行政も協力していく旨、力強い挨拶がありました。住民自らが行動し、みずき野がより住みやすい街になるよう相互扶助の精神で頑張りたいものです。(文責 中村暉夫)

地域福祉ニュース

<みんなで築こう、みんなの幸せ:その4>

地域包括ケアシステムモデル事業について

今回は市役所が進める「地域包括ケアシステム事業」のモデル地区(試験的实施地区)にみずき野が選ばれたというお知らせです。

地域包括ケアという考え方は守谷市の地域福祉活動計画の中にも重要な基本施策として取り入れられていますが、その基本的考え方は、従来ばらばらに展開されていた医療や介護、生活支援、権利擁護などを、地域包括支援センターを中心に日常生活圏域内でネットワークを構築することにより、継続的で切れ目のない福祉として実現しようというものです。

3月21日に市役所から町内会に「地域包括ケアのモデル事業をみずき野で展開することについて」提案があり、町内会としては受ける方向で検討に入りたいと考えています。

モデル事業の詳細は今後三ヶ月程度の時間をかけて、市役所とみずき野町内会で詰めていきますが、高齢者だけでなく住民すべてを対象とする福祉活動計画にしたいと思っています。

市役所としては、みずき野で半年程度の実証実験をした後、来年度から市内の他の地区に展開する予定とのことです。

進捗は適宜、月二回の町内回覧、及び「町内会だより」を使ってお知らせします。

モデル事業の展開にあたっては住民の皆様のご理解と積極的参画が必須であり、この計画の成功の鍵は住民の皆さんの参加にかかっていると考えています。事業概要が固まり次第、福祉ボランティアを募集する予定ですので、ぜひ参加していただきたいと思います。

特集 みずき野夏祭り

テーマ **故郷創生(ふるさとそうせい)**

みずき野町内会最大のイベント“みずき野夏祭り”が近づいて来ました。第4号では“さわり”をお知らせします。



昨年の子供神輿

次の世代が住みたくなる街、今住んでいる世代が住み続けられる街、明るい未来が見える街…みずき野。そんな街を実現させるために、“みずき野夏祭り”に多くの方の参加をお願いします。

少し、過去の夏祭りを振り返った時に、子供から高齢者まで“巾広い層”が参加出来るイベントが少ない、地域の幼稚園・小学生の参加が少ない、等のご意見を頂戴しました。

そこで今年は、従来のイベントに新しいイベントを融合させた**新企画を練っています**。

- 第一調整池では、ミニSLの運行、紙飛行機作りと飛行コンテスト、サイクル(競輪選手にチャレンジ)、子供達が運営する模擬店、お休み処も数ヶ所設営
- みずき野幼稚園では、お化け屋敷、ダブルダッチ(縄跳びパフォーマンス)の模範演技
- 盆踊りを盛り上げる櫓(やぐら)と太鼓の復活
- 大人神輿(みこし)の町内練り歩き

等々、具体的なお誘いの案が出来るまで楽しみにお待ちしております。

また子供達のお楽しみ“子供神輿”の巡行“射的”“ヨーヨー釣り”は外せませんね。大人の方には、冷たい飲み物を片手に各サークルのご披露を堪能ください。もちろん、皆様のお目当て、各種模擬店も多数出店を予定しています。

さて、イベントを拡大する予定の今年の夏祭りに**「祭りボランティアの大募集」**です。

中学生以上ならどなたでもOK。

皆様ご自身で“出来ること”で、イベントと一緒に“作り上げて”みませんか？

《例えば》

- ・お化け屋敷を作ってみる
どうせなら、“お化け”になっちゃおう！
- ・紙飛行機の作り方や飛ばし方を指南
ご自身も“飛ばしコンテスト”に参加
- ・“射的”、“ヨーヨー釣り”、“かき氷”など
模擬店のお手伝いで販売体験！
- ・子供神輿と一緒に回る“盛り上げ役”
半被(はっぴ)を着てお祭り気分
- ・フィナーレの盆踊りの輪で
踊りまくる“踊り手”



昨年のヨーヨー釣り



みずき野幼稚園 入園式



待望の郷州沼崎線開通 3月27日



第一調整池 野球場



“ポケットの会”の花々も満開



郷州小学校 入学式



みずき野中央公園にて

編集後記

今号の特集は「町内会定期総会」と「みずき野夏祭り情報」です。住民同士の交流の場として開催される恒例の夏祭り、今年の新企画にボランティアとして楽しみませんか。皆様の参加をお待ちしています。今般、編集局組版担当に桜井仁一さんが加わりました。よろしくお願ひします。最後に、これまで町内会を支えてこられた矢嶋鍾美前会長をはじめ退任役員、班長の皆さんのご尽力に感謝申し上げます。（新編集長 千葉武志）